

スポーツYAMATO

首位攻防戦は白熱の投手戦

エース大串力投



首位MORIに0-1惜敗

6回1安打4K

首位攻防戦MORIとの一戦は手に汗握る白熱の投手戦となった。先週のオーブン戦から絶好調の大串はこの日も気迫いっぱい、の投球を披露した。1回裏、エラーでランナーを許したが、キャッチャー堀が見事、盗塁を阻止して立ち上がりのピンチを脱出すると、2回以降はエンジン全開に。3回裏は2者連続三振で相手打線を全く寄せ付けないピッチングだった。しかし、4回裏に四球で出塁を許すと、MORIが確実に2塁に進塁させて大串にプレッシャーをかけてきた。次の打者をショートフライに打ち取り、2アウトとしたが、この日唯一許したヒットがライト前タイムリーとなり、1点を失ってしまった。5回裏はストライクとボールがはつきりとしてしまい、そろそろ限界と思われたが、6回裏は自ら志願してマウンドに上がり、1三振を含む三者凡退で相手打線を退けた。この好投にエースに白星をつけてあげられなかったのは残念でならないが、この日の大串のピッチングは素晴らしいという意外の言葉は見つからないだろ。この大事な一戦にきっちり仕上げ、見事

斉藤22歳誕生日

結果を残すところはさすがはエース大串だ。杉野監督も最終回はあと10年投げ続けてイケる様な気迫あふれる素晴らしいピッチングだったと大絶賛だった。これからもっとしびれる試合が順位決定節では待ち受けているはずだ。その時は、再びエース大串が力投し、今度は味方打線の援護で勝利を手にするだろう。頼むぞ大串。

9月30日、左のエース斉藤未来がこの日22歳の誕生日を迎えた。宿舎を出発する前にチームメイトからお祝いされた斉藤。大串の力投でベースデイ登板はかなわなかったが、10月1日のYKK戦には杉野監督から予告先発を告げられている斉藤。絶対に負けられない試合を前に緊張感が漂う雰囲気だが、斉藤本人は、宿舎に戻ってから音楽を聴きながら散歩でリラックスした様子。あまり普段から感情を出さない斉藤だが、「明日は頑張ります」と言葉少ないながらも闘志を感じる力強さと大串以上のピッチングをする意気込みが感じられた。1日遅れのベースデイ勝利で斉藤をお祝いできるかはこの日抑え込まれた打撃陣にかかっているのは言うまでもない。